

いわて県北クリーン株式会社
2022年度「環境報告会」(事業報告会)

2009年4月より営業を開始し「いわて第2クリーンセンター」は、地域の皆様方のご理解とご協力により、おかげさまで開業14年目の年度となっております。

さて、当該施設の運営状況をお知らせする報告会を、年に一度当社会場にて開催してはりましたが、昨年同様に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、「資料の配布とホームページによる情報公開」の方法に代えさせて頂く事としました。

つきましては趣旨等ご理解の上、当社の運営状況、環境活動等の資料をご高覧頂きますようお願いいたします。なお、ご意見やご質問等伺いたいと存じますので、些細なことでも結構ですので以下にご一報賜りますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症が収束の後には、従来通り開催いたしますので、引き続きご当社の施設運営に対して理解とご協力のほどよろしく申し上げます。

《 2022年度「環境報告会」(事業報告会)配布資料 》

- 環境活動レポート2022 (2021年度実績)
- 2021年度施設運転状況
- いわて県北クリーン・ニュース (2022年度第1号、第2号)

いわて県北クリーン株式会社 事業所長 村田 英敏 宛

住所：〒028-6505 岩手県九戸郡九戸村大字江刺家第20地割48番地34

電話：0195-42-4085 FAX：0195-42-4550

Mail：info@iwate2cln.co.jp

ご意見・ご質問・ご要望等

環境王国「いわて」を担う
いわて第2クリーンセンター

環境経営レポート 2022

(2021年度実績報告)

対象期間 2021年4月1日~2022年3月31日



いわて県北クリーン株式会社

代表取締役 生藤 勇

発行日 2022年8月26日

もくじ

1. 会社概要	P1
2. 事業概要	P2
3. 施設概要と特徴	P3
4. 許可品目	P5
5. 環境経営方針	P6
6. 組織図	P7
7. 役割と責任・権限	P7
8. 環境目標と活動実績	P8
9. 環境活動の結果と評価	P8
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果	P13
11. 代表者による全体の評価と見直し	P13
12. イベント、セミナー、教育等	P13
13. 資格・免許・認定	P16

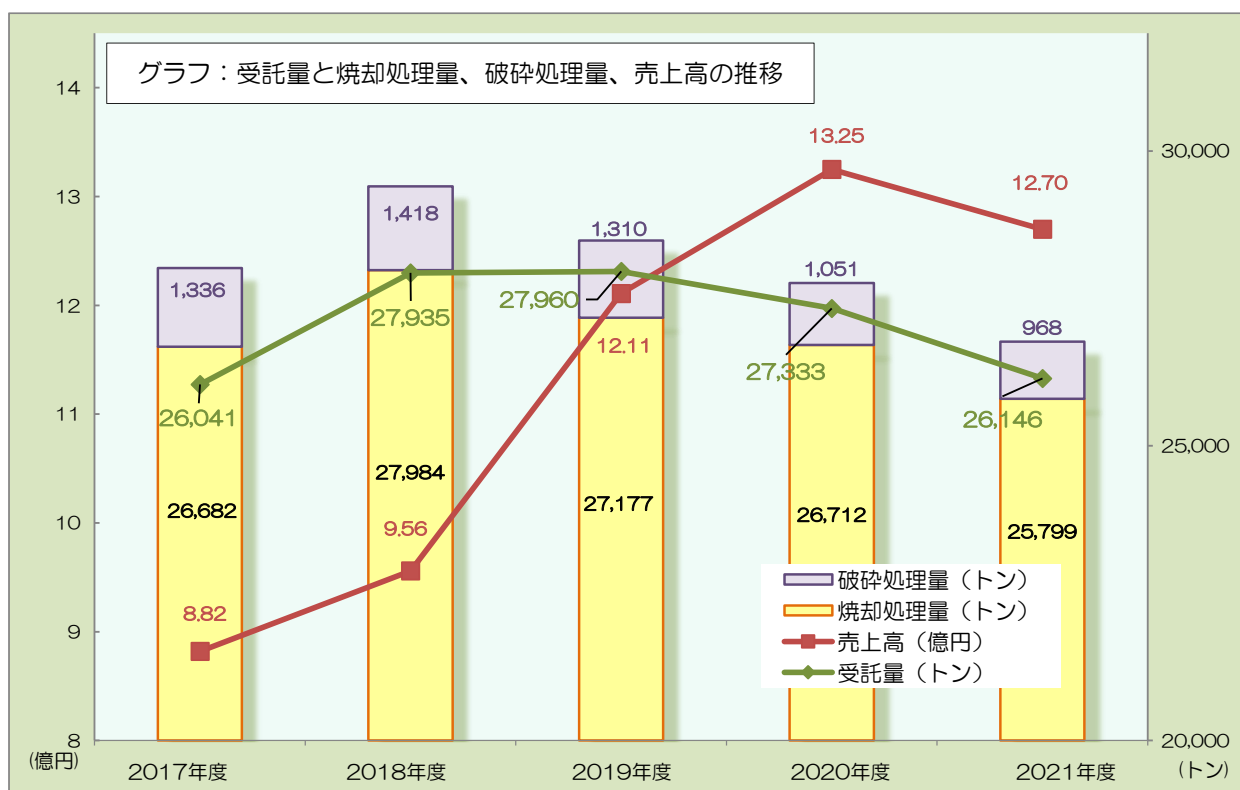


1. 会社概要 (2022年4月1日現在)

会社名 : いわて県北クリーン株式会社
 施設名 : いわて第2クリーンセンター
 所在地 : 〒028-6505 岩手県九戸郡九戸村大字江刺家第20地割48番地34
 代表者 : 代表取締役 生藤 勇
 業務開始 : 2009年4月(設立:2006年4月)
 資本金 : 9,000万円
 株主 : 株式会社タクマ ・ 株式会社タクマテクノス ・ 西松建設株式会社
 事業内容 : 産業廃棄物中間処理業 ・ 一般廃棄物処理業 ・ 売電事業
 従業員数 : 43名
 事業面積 : 約70,000㎡
 EA21 認証登録範囲 : 全組織 ・ 全活動
 環境管理責任者 : 村田 英敏 ・ コミュニケーション窓口 : 田村 一人
 TEL 0195-42-4085 FAX 0195-42-4550
 Mail info@iwate2cln.co.jp URL <http://www.iwate2cln.co.jp>

会社の沿革

2006年 4月 12日	株式会社タクマ、株式会社タクマテクノス、西松建設株式会社の出資により設立
2007年 10月 30日	環境大臣による廃棄物処理センター指定
2008年 3月 29日	産業廃棄物処理施設 設置許可取得
2009年 1月 7日	産業廃棄物処理施設 処分業許可取得 (許可番号: 00329146787)
2009年 1月 7日	特別管理産業廃棄物処理施設 処分業許可取得 (許可番号: 00379146787)
2009年 4月 1日	事業開始
2009年 6月 8日	一般廃棄物処理施設 処分業許可取得
2009年 6月 30日	基準適合産業廃棄物処理業者認定 (中間処理★★取得)
2010年 2月 15日	エコアクション21取得
2012年 8月 30日	いわて地球環境にやさしい事業所認定 (★★★★取得)
2014年 11月 11日	産業廃棄物処分業 事業範囲 変更 (破碎中間処理追加)
2015年 5月 15日	産業廃棄物処理施設 設置許可取得 (破碎中間処理施設設置)
2015年 5月 28日	産業廃棄物処分業 事業範囲 変更 (破碎中間処理追加)
2022年 5月 13日	産業廃棄物処分業 事業範囲 変更 (圧縮処理追加)



2. 事業概要

本事業は、岩手県を発注者とする PFI 事業で運営を行っています。岩手県の「自県内処理の推進」及び「資源循環型社会の形成」に基づき、多種多様な廃棄物を適正に処理するための「焼却設備」・「熔融設備」・「破碎設備」・「圧縮設備」があり、あらゆる性状に対応が可能となっています。

処理施設は万全の環境保全対策が施された処理システムにより、安定的かつ安心な施設となっています。

3. 施設概要と特徴

施設名称 : いわて第2クリーンセンター
設置規模 : ロータリーキルン&ストーカ炉 87.9 t/日 ×1 基
燃料式表面溶融炉 13t/日 ×1 基
破碎施設 ×2 施設
ボイラー型式 : 三胴式廃熱ボイラー
最高使用圧力 : 3.30 MPa
常用使用圧力 : 2.90 MPa
蒸気温度 : 241℃
最大蒸発量 : 10.2 t/h
タービン形式 : 復水タービン
最大発電出力 : 840 kW



排ガス規制値

種類	法規制値	自主管理値
ダイオキシン類(ng-TEQ/m ³ N)	1.0	0.1
硫酸化物(ppm 以下)	3,761 (K 値 17.5)	50 (K 値 0.25)
窒素酸化物(ppm 以下)	250	100
塩化水素(ppm 以下)	430	80
ばいじん(g/m ³ N 以下)	0.08	0.02

多種多様な廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む）の適正処理

- ◎ 高温処理による完全燃焼と無害化
 - ・ 焼却炉内温度 850℃以上（自主管理値） ※法規制値 800℃以上
 - ・ 溶融炉内温度 1300℃以上

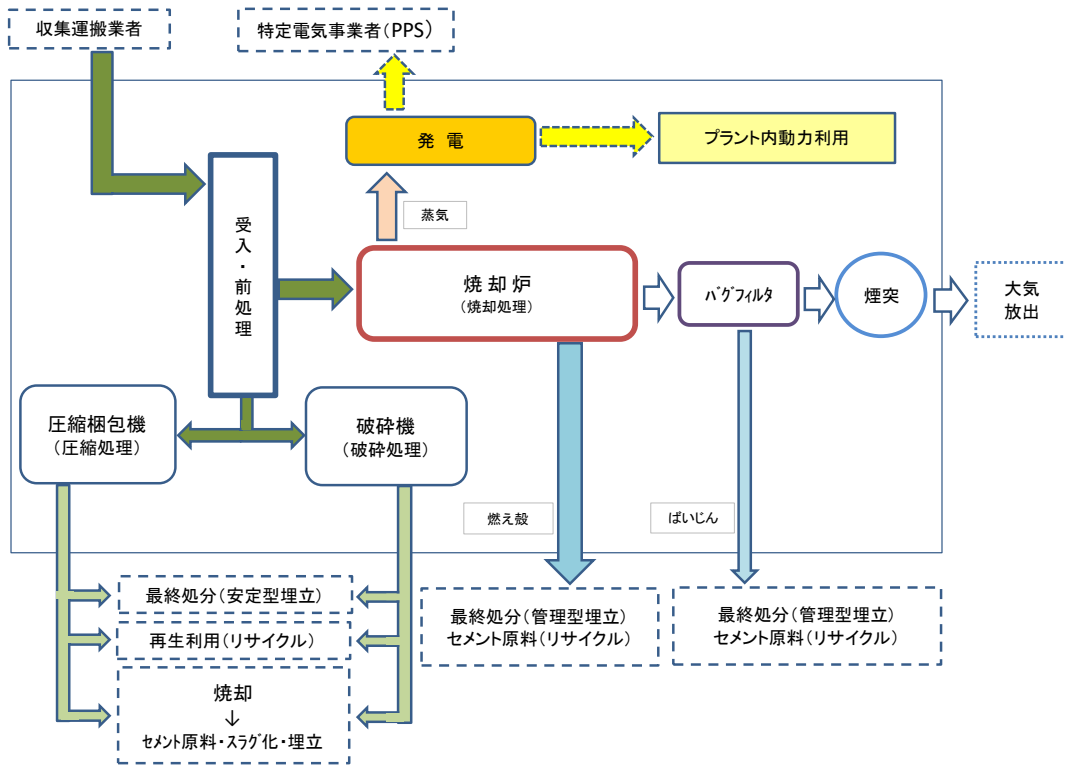
省エネ・資源リサイクルの促進

- ◎ 蒸気タービン発電機 最大 840 kW（発電設備） ※廃熱ボイラー蒸気利用
施設内で使用する電力の全量供給及び余剰電力の売電

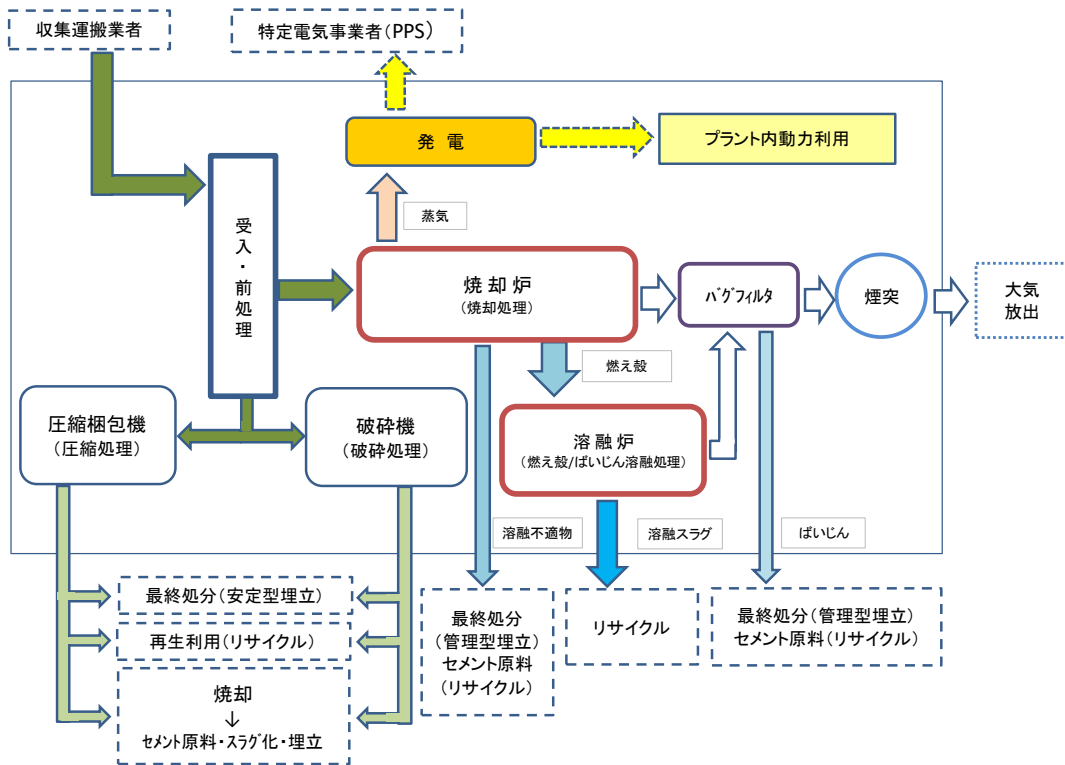
周辺環境への配慮

- ◎ 排ガスは環境にやさしい管理値を設け、地域環境保全に配慮
- ◎ クローズドシステムによりプラント排水及び生活排水は施設内において再利用し、場外へは無放流
- ◎ 騒音・振動の発生を抑制した設備の導入及び防音材設置や振動対策基礎の導入
- ◎ 臭気を外部に放出させない換気システム

いわて第2クリーンセンター
いわて県北クリーン株式会社 処理フロー(焼却・破碎・圧縮)



いわて第2クリーンセンター
いわて県北クリーン株式会社 処理フロー(焼却・破碎・圧縮・溶融)



4. 許可品目

焼却施設

- 産業廃棄物

- ① 燃え殻
- ② 汚泥
- ③ 廃油
- ④ 廃酸
- ⑤ 廃アルカリ
- ⑥ 廃プラスチック類
- ⑦ 紙くず
- ⑧ 木くず
- ⑨ 繊維くず
- ⑩ 動植物性残さ
- ⑪ 動物系固形不要物
- ⑫ ゴムくず
- ⑬ 金属くず
- ⑭ ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
- ⑮ 動物のふん尿

許可番号：00329146787

許可年月日：令和2年2月26日

許可有効年月日：令和6年1月6日

- 特別管理産業廃棄物

- ① 廃油
- ② 廃酸
- ③ 廃アルカリ
- ④ 感染性産業廃棄物
- ⑤ 燃え殻
- ⑥ 汚泥

許可番号：00379146787

許可年月日：平成31年1月7日

許可有効年月日：令和6年1月6日

- 一般産業廃棄物

- ① 事業系一般廃棄物又は処理困難一般廃棄物

許可年月日：令和3年6月8日

許可有効年月日：令和5年6月7日



溶融施設

- 産業廃棄物 ① 廃プラスチック類 ② 汚泥
- 特別管理産業廃棄物 ① 汚泥

破碎施設

- 産業廃棄物

- ① 廃プラスチック類
- ② 紙くず
- ③ 木くず
- ④ 繊維くず
- ⑤ ゴムくず
- ⑥ 金属くず
- ⑦ ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
- ⑧ がれき類

圧縮施設

- 産業廃棄物

- ① 廃プラスチック類
- ② 紙くず
- ③ 繊維くず
- ④ ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず

環境経営方針

《基本理念》

いわて県北クリーン株式会社は、多種多様な廃棄物を安全かつ適正に処理する事業を社会インフラとして捉え、地域の社会経済活動を支えるとともに、省エネ・創エネの促進に努めます。また、災害時には被災地の復興に最大限の協力をします。

《行動指針》

1. 廃棄物を資源として捉えたりサイクルや、熱エネルギーを有効的に利用した環境負荷の低減による地球温暖化の防止や循環型社会の形成に貢献します。
2. 事業活動に係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理項目として取り組みます。
 - (1) 安定した電力供給に努めます。
 - (2) 二酸化炭素の排出量削減に努めます。
 - (3) 廃棄物の削減及びリサイクルに努めます。
 - (4) 水の使用量削減に努めます。
 - (5) 化学物質の適正使用に努めます。
3. 事業活動に関連した環境関連法規を遵守します。
4. 地域との連携を密にし、環境保全活動に積極的に参加します。
5. 環境経営方針は社内に掲示し、教育及び会議を通じ社員に理解を深め、積極的に取り組みます。

制定：2010年5月 1日

改定：2020年7月 1日

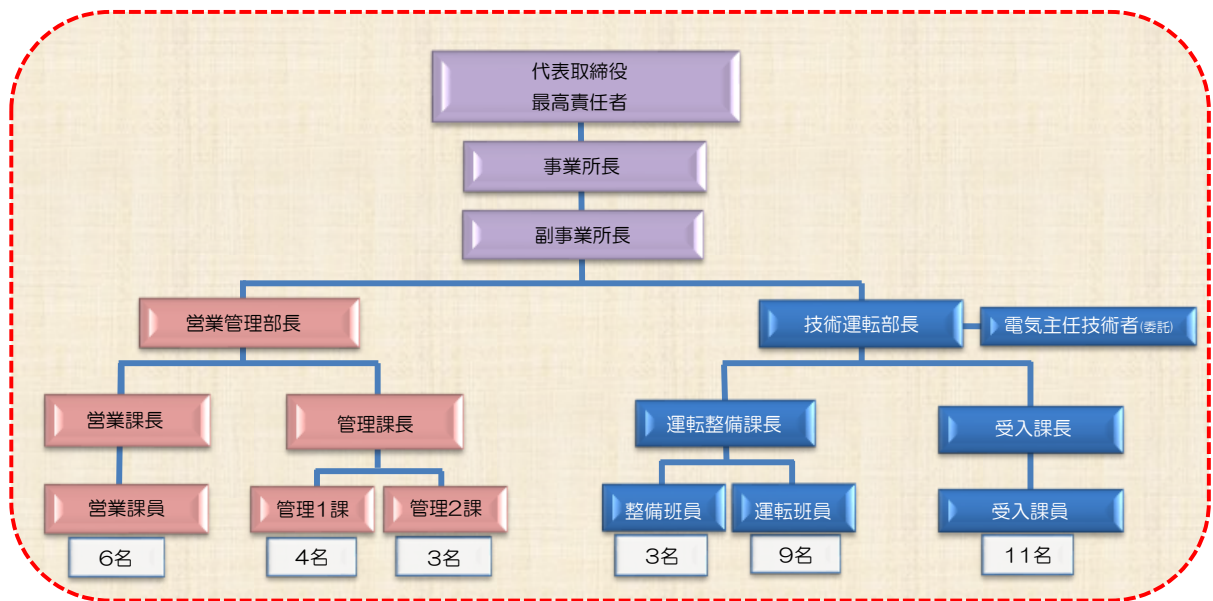
いわて第2クリーンセンター

いわて県北クリーン株式会社

代表取締役

生藤 勇

6. 組織図 (2022年4月1日現在)



EA21 取組範囲

7. 役割と責任・権限

役割	担当者	役割と責任・権限
代表者	代表取締役	①環境管理責任者の任命 ②環境管理責任者から報告を受けて全体の見直し ③取組に対する資源を用意 ④環境方針を作成する
環境管理責任者	事業所長	①代表者に代わって環境管理システムを構築し運営 ②関連法規の把握をして代表者に情報を報告 ③必要な教育訓練を計画し実施
E A21 事務局	管理2課	①環境管理責任者に代わってデータ収集 ②各部署へE A21の目標数値を周知 ③各部署の実施状況を把握し、環境管理責任者へ報告
防災責任者	防火管理者	①防災計画の立案 ②火元責任者の選任
安全運転管理者	事業所長	①安全運転のために必要な教育・訓練の実施 ②エコドライブの積極的な推進
各部門長	営業管理部長 技術運転部長	①取組み項目の把握及び実施状況の確認 ②各部署へ取組み項目の達成状況を周知 ③必要に応じて各取組み項目の是正及びその指示 ④環境配慮・緊急事態に関する予防措置
社員	全社員	①取組み項目に対して積極的に実施 ②環境保全活動への積極的な参加

8. 環境目標と活動実績

中長期の環境経営目標の策定

No.	項目	単位	基準値 2019年	中期目標 2020年度	中期目標 2021年度	長期目標 2022年度
1	受電電力量の削減	kWh/t	6.3	5.9	5.8	5.8
2	重油使用量の削減	ℓ/t	2.05	0.87	0.85	0.85
3	軽油使用量の削減	ℓ/t	3.24	2.38	2.35	2.35
4	ガソリン使用量の削減	ℓ/t	0.35	0.31	0.30	0.30
5	上水使用量の削減	m ³ /t	0.51	0.48	0.48	0.48
6	温室効果ガス排出量の削減	kg-CO ₂ /t	16.1	12.7	12.6	12.6
7	発電電力量の増加	kWh/t	235.5	224.0	225.0	225.0
8	廃棄物受託量の増加	t/年	27,966	29,500	29,500	29,500
9	化学物質の削減	ℓ/年	80.2	119.0	119.0	119.0

各年度目標値に対する達成度

目標達成 目標未達
※達成判定は90%以上とする

No.	項目	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
1	受電電力量の削減	kWh/t	7.6	4.5	6.3	6.7	80.6
2	重油使用量の削減	ℓ/t	1.61	0.89	2.05	1.44	1.03
3	軽油使用量の削減	ℓ/t	2.37	2.37	3.24	3.09	2.76
4	ガソリン使用量の削減	ℓ/t	0.35	0.32	0.35	0.26	0.31
5	上水使用量の削減	m ³ /t	0.50	0.48	0.51	0.34	0.27
6	温室効果ガス排出量の削減	kg-CO ₂ /t	13.3	12.8	16.1	16.3	48.4
7	発電電力量の増加	kWh/t	219.8	222.9	235.5	220.2	64.3
8	廃棄物受託量の増加	t/年	26,041	27,935	27,960	27,333	26,146
9	化学物質の削減	ℓ/年	96.0	118.8	89.1	98.0	106.9

9. 環境活動の結果と評価

「受電電力量の削減」

2021年度 目標 5.8kWh/t
 2021年度 実績 80.6kWh/t
 2021年度 総量 2,156,130kWh
 達成率 7.2% (未達)

取組内容

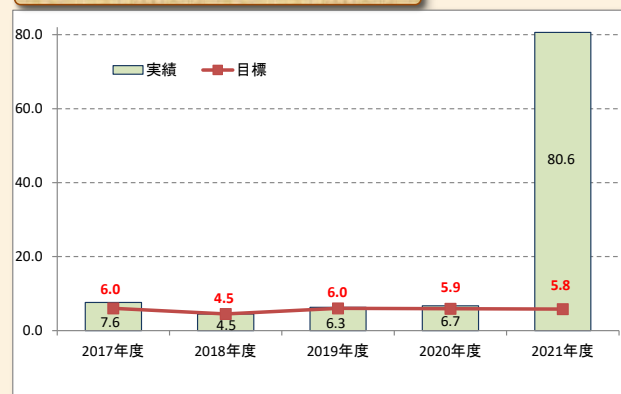
安定的な発電により受電電力を削減できるように投入ゴミの熱量を均一化する。

活動結果と評価

蒸気タービン発電機の損傷により、受電による施設稼働となったため、目標値を大きく下回った。

外気温度に対するヒーターのON/OFF管理については、実施できたと考える。

受電電力量の削減 (kWh/t)



< 2022年度 目標 30.8kWh/t >

取組内容

- ・こまめに電気を消し受電電力を削減する。
- ・安定した燃焼管理をし、発電出力を維持することにより受電の削減を行う。

(蒸気タービン発電機が9月から稼働予定で目標値設定)

「 重油使用量の削減 」

2021年度 目標 0.85 ℓ/t
 2021年度 実績 1.03 ℓ/t
 2021年度 総量 27,508ℓ
 達成率 82.7% (未達)

取組内容

施設の不具合を早急に察知し対応すること、廃棄物のカロリーコントロールに注力する。

活動結果と評価

汚泥処理のためバーナ運転をしたり、ゴミの供給不良による炉温低下を防ぐため、重油を使ったため未達になった。

重油使用量の削減 (ℓ/t)



<2022年度 目標 1.02 ℓ/t >

取組内容

- ・焼却炉へ常に適切な量のごみの供給をし、炉温低下を防ぎバーナ使用による重油使用を抑える。

「 軽油使用量の削減 」

2021年度 目標 2.35 ℓ/t
 2021年度 実績 2.76 ℓ/t
 2021年度 総量 73,976ℓ
 達成率 85.0% (未達)

取組内容

- ・無駄なアイドリングをしない。
- ・作業中、なるべく負荷をかけない運転を心がける。

活動結果と評価

アイドリングストップなどで使用量削減を心がけたが、前処理作業の増加や、圧縮梱包の作業、重機の増台により未達となった。

軽油使用量の削減 (ℓ/t)



<2022年度 目標 2.90 ℓ/t >

取組内容

- ・重機等の台数が増えている中で削減するため、重機、破碎機の作業時間の短縮等、運用の変更を検討する。

「 ガソリン使用量の削減 」

2021年度 目標 0.30ℓ/t
 2021年度 実績 0.31ℓ/t
 2021年度 総量 8,050ℓ
 達成率 97.4% (達成)

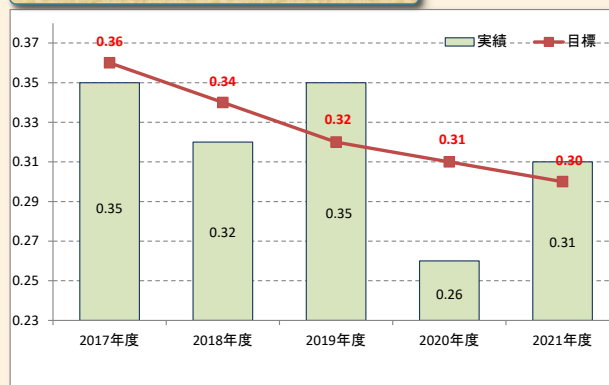
取組内容

計画的な運行計画により、無理な運転を避けてエコドライブ運転に努める。

活動結果と評価

4月から10月はコロナによる行動制限をしたため使用量が少なかったが、11月からは受入目標達成のため、営業活動を積極的にしたため増加したが、エコドライブに努めた結果、達成となった。

ガソリン使用量の削減 (ℓ/t)



<2022年度 目標 0.25ℓ/t>

取組内容

- ・セーフティードライブ及びエコドライブを常に意識し、運行計画に基づいた運転に努める。

「 上水使用量の削減 」

2021年度 目標 0.48m³/t
 2021年度 実績 0.27m³/t
 2021年度 総量 7,113m³
 達成率 180.6% (達成)

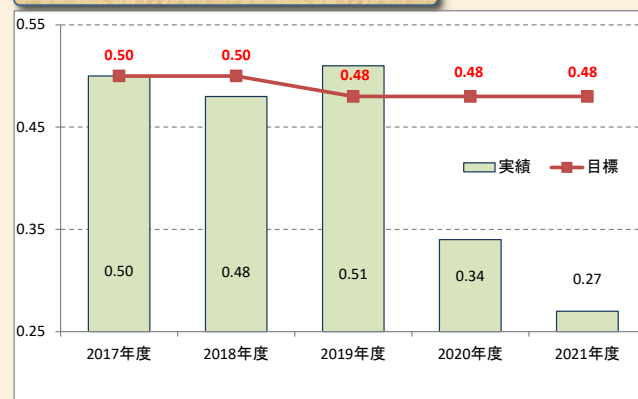
取組内容

調整池水の利用継続と水槽レベル監視強化。

活動結果と評価

調整池の水位を適宜監視して、可能な限り雨水を利用することができた。

上水使用量の削減 (m³/t)



<2022年度 目標 0.26m³/t>

取組内容

- ・雨水の有効利用と水槽レベル監視強化により、上水使用量を削減する。

「 温室効果ガス排出量の削減 」

2021年度 目標 12.6kg-CO₂/t

2021年度 実績 48.4kg-CO₂/t

2021年度 総量 1,295t-CO₂

達成率 26.0% (未達)

取組内容

重油や軽油、受電量の削減と、安定した運転管理を行う。

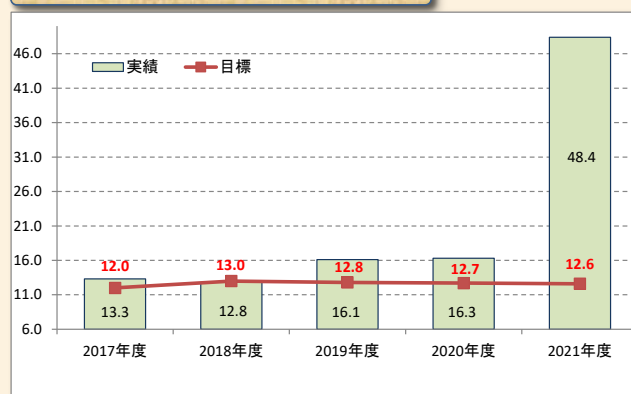
活動結果と評価

蒸気タービン発電機の損傷により、すべての電力を買電となった影響が大きかった。また、重油、軽油の使用量増加もあり、未達となった。

※ 令和3年度の電気事業者別二酸化炭素

排出係数：0.000469 (t-CO₂/kWh)

温室効果ガスの削減 (kg-CO₂/t)



<2022年度 目標 35.0kg-CO₂/t>

取組内容

- ・ 蒸気タービン発電機の早期復旧、各燃料類の使用量削減し、CO₂削減に努める

(蒸気タービン発電機が9月から稼働予定で目標値設定)

「 発電電力量の増加 」

2021年度 目標 225.0kWh/t

2021年度 実績 64.3kWh/t

2021年度 総量 1,722,380kWh

達成率 28.6% (未達)

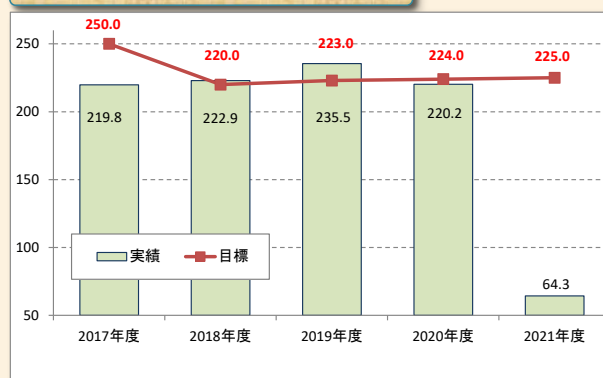
取組内容

安定した燃焼管理により発電電力量の増加を目指す。

活動結果と評価

2021年7月28日に蒸気タービン発電機が損傷し、以降発電できなかったため未達となった。ただし稼働していた4月から6月は224.3kWh/tと好調だった。

発電電力量の増加 (kWh/t)



<2022年度 目標 130.1kWh/t>

取組内容

- ・ 早期の蒸気タービン発電機の稼働を目指す。
- ・ 稼働後は、効率的な運転を心がけて、発電電力量の増量に努める。

(蒸気タービン発電機が9月から稼働予定で目標値設定)

「 廃棄物受託量の増加 」

2021年度 目標 29,500 t/年
 2021年度 実績 26,146 t/年
 達成率 88.6% (未達)

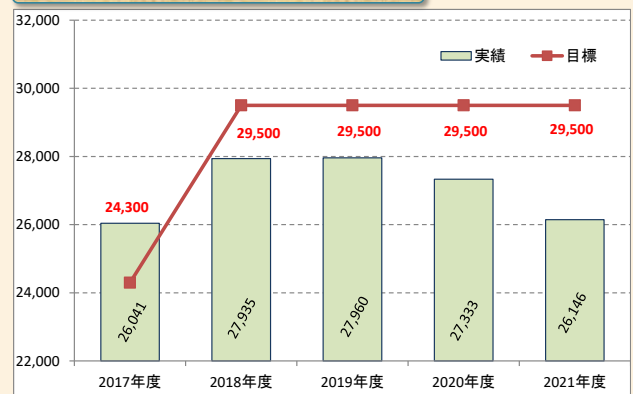
取組内容

継続的な顧客営業と新規顧客獲得へ注力する。

活動結果と評価

コロナ禍や世界的な物資不足等により、廃プラスチック類をはじめとした廃棄物の流通量が減少した。また、コロナによる営業活動自粛のため、未達となった。

廃棄物受託量の増加 (t)



<2022年度 目標 27,800 t/年>

取組内容

- ・ 自社処理施設を活用し、環境に対する課題解決の提案を行う。
- ・ ゼロエミッション、セメント原燃料化を推進し安定した物量増加を狙う。

「 化学物質の削減 」

2021年度 目標 119.0 ℓ/年
 2021年度 実績 106.9 ℓ/年
 達成率 111.3% (達成)

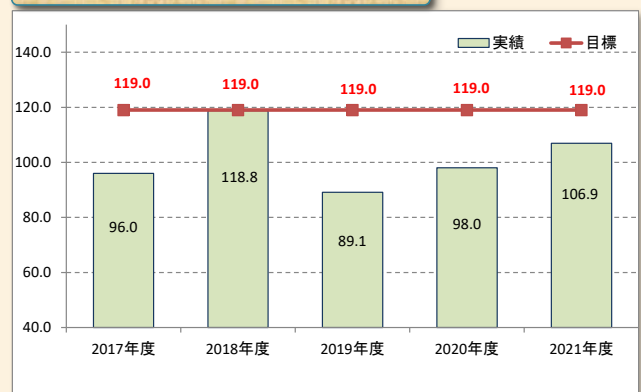
取組内容

日常点検でボイラ水の監視に注力し、清缶剤の投入量を適正に投入し削減へつなげる。

活動結果と評価

薬品の適正投入により、削減につながった。

化学物質の削減 (ℓ/年)



<2022年度 目標 119.0 ℓ/年>

取組内容

- ・ ボイラの運転状況を把握、監視し、薬品を適正な量投入する。

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘もありません。

11. 代表者による全体の評価と見直し

1.結果に対する評価

2021年度は蒸気タービン発電機の故障による影響が大きかった年度となったが、そのような状況下であっても、各取り組み項目の結果は未達があったが、全体的には全社員の活動を評価する。

2.全体の見直し

蒸気タービン発電機の早期再稼働に注力することと、破碎処理と圧縮処理の更なる事業拡充と効率化により、各取り組みの達成率の向上と安定操業に努め、より一層の環境負荷低減を行うこと。

3.次期取り組みへの指示

各取り組み項目の担当者は、想定外の事象にも臨機応変に対応しつつ、その担当業務における最善の取組を検討・実施すること。その際は担当者間で積極的に意見交換をしながら、確実にPDCAサイクルを回すこと。

12. イベント、セミナー、教育等

イベント関係

実施日	実施項目	実施内容
4月24日	クリーン九戸行動日	九戸村主催のゴミ拾いイベント
8月12日	環境整備活動	九戸インターから会社までのゴミ拾い活動
9月1日から 9月30日	環境報告会（事業報告会）	地域住民・県内企業を対象とした事業報告会 コロナ対策のため、資料の設置とホームページで公開する方法で実施

セミナー・講習会

実施日	実施項目	実施内容
6月2日	ITをさらに経営の力にするためのオンラインセミナー	WEBソフト関連
10月26日	働きがいのある職場づくり講座	職場改革等に関するセミナー
2月2日	3R推進地方セミナー In 岩手	リサイクルに関するセミナー

教育・訓練

実施日	実施項目	実施内容
5月18日	健康教育	九戸村・二戸保健所の講師による健康教育
5月13日	安全運転に関する講習	二戸警察署の講師による交通安全講習
5月18日	フルハーネス型墜落制止用器具特別教育	墜落制止用器具の正しい使い方の教育
5月24日～26日	玉掛技能講習	重量物を吊り上げる際の掛け外し作業の講習
8月4日～6日	小型移動式クレーン運転技能講習	小型移動式クレーンの操作に関する講習
10月19日	低圧電気取扱業務特別教育	電気による労働災害を防止する特別教育
11月12日	自由研削砥石取替え業務特別教育	研削といしの取替えに関する教育
11月15日	危険物取扱者保安講習	危険物の作業者が定期的に受講する講習
11月24日、25日	はい作業主任者技能講習	荷を積み重ねる作業に関する安全教育
12月1日	産業廃棄物処理優良事業者育成研修会	契約やマニフェストに関する教育
2月1日	電子マニフェスト導入実務研修会	電子マニフェストに関する教育
2月16日	産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント推進研修会	職場の潜在的な危険性を見つけ出し、除去・低減するための研修会
3月29日～31日	ボイラー実技講習会	ボイラー技士免許試験に必要な講習

クリーン九戸行動日 参加

2021年4月24日九戸村のゴミ拾い「クリーン九戸行動日」に参加しました。2020年は新型コロナ感染症拡大防止のため中止でした。2年ぶりだったのでたくさんのゴミが予想されましたが、結果それほど酷くはなく例年と同じくらいの量でした。



九戸村役場前で集合写真



開会前の整列の様子



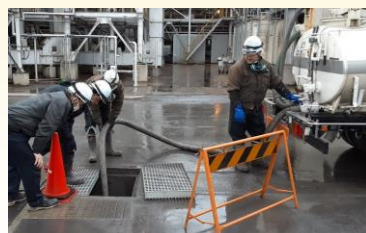
ゴミ拾いの様子

拡散防止訓練

2022年3月17日に、廃油が漏洩したことを想定した「拡散防止訓練」を実施しました。廃油をおがくすと吸着マットで流出防止を行い、最終雨水樹に吸引車を設置し、雨水ごと油を吸引し回収する訓練です。



おがくすとこぼれた油を吸着する様子



側溝に流れた油を吸引する様子



吸引した油をビットへ投入する様子

健康教育、交通安全教育

毎年、5月の定期整備の期間を利用して、外部講師を招いて社員教育を実施します。2021年は九戸村保健センター様・二戸保健所様から、生活習慣や感染症に関する健康教育をしていただきました。また、二戸警察署様からは、交通安全に関する教育を実施して頂きました。



健康教育の様子



交通安全に関する教育の様子

環境整備活動

2021年8月12日、九戸インター入口～道の駅おりつめ敷地内～当社までのゴミ拾い活動をしました。毎年お盆の前に「気持ちよく帰省してもらおう」ということで実施しています。小さな活動ですが、環境保護として地域貢献として、継続していきたいと思えます。



道の駅おりつめ「オドテ館」前で集合写真



「オドテ館」前の県道のゴミを拾う様子

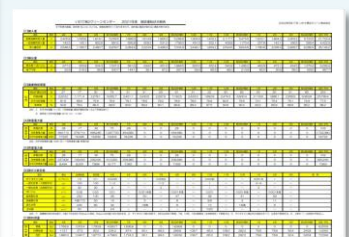


九戸インター前の花壇とゴミ拾いの様子

事業報告会（環境報告会）

当社では毎年1回、近隣にお住まいの方や排出者(企業等)を対象として、事業報告会(事業状況と環境配慮の取組みをご報告する会)を開催しております。残念ながら2020年度と2021年度に限って、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、九戸村役場、二戸保健所、道の駅おりつめに報告書を設置するとともに、当社ホームページで公開し、さらに地元の九戸村江刺家地区の全世帯約380戸に対して資料を全戸配布することで開催とさせていただきます。

今後も積極的に情報公開することで、排出者様や近隣にお住まいの方にご安心いただけるよう取組み、引続き当社の事業にご理解いただけるよう努めてまいります。



環境活動レポートと事業状況報告書、アンケート等を配布しました

13. 資格・免許・認定

	資 格 ・ 取 得	取得者数
E C O	エコスタッフ講習	2名
	環境社会検定試験（ECO検定）	2名
	エコドライブ講習	1名
管 理 士	産業廃棄物処理施設技術管理士	2名
	一般廃棄物処理施設技術管理士	2名
	破砕・リサイクル施設技術管理士	1名
廃 棄 物	特別管理産業廃棄物管理責任者講習	3名
	特別管理産業廃棄物処理業に関する講習（処分業課程）	1名
	特別管理産業廃棄物処分業に関する講習（収集・運搬業課程）	1名
	産業廃棄物処理実務者研修会基礎コース	15名
ボ イ ラー	第2種ボイラー・タービン主任技術者	1名
	1級ボイラー技士	10名
	2級ボイラー技士	11名
	ボイラー整備士	1名
	ボイラー取扱従事者安全衛生教育	1名
電 気	第二種電気工事士	4名
	低圧電気取扱者教育	3名

	資 格 ・ 取 得	取得者数
危 険 物	甲種防火管理者	2名
	乙種第1類危険物取扱者	2名
	乙種第2類危険物取扱者	1名
	乙種第4類危険物取扱者	19名
	乙種第6類危険物取扱者	1名
	丙種危険物取扱者	6名
技 能 講 習 ・ ク レ ーン	高所作業車運転技能講習	4名
	車両系建設機械（整地等）	24名
	車両系建設機械（解体）※特例講習含む	22名
	フォークリフト技能講習	26名
	玉掛け技能講習	14名
	ガス溶接技能講習	22名
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	13名
	有機溶剤作業主任者技能講習	9名
	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習	6名
	小型移動式クレーン運転技能講習	4名
	床上操作式クレーン運転技能講習	2名
	クレーン運転業務特別教育	18名
特 別 教 育	ダイオキシン類ばく露防止特別教育	5名
	ダイオキシン類特別教育	33名
	安全衛生推進者養成講習	3名
	アーク溶接特別教育	20名
	粉じん作業特別教育	1名
	チェーンソー伐木業務特別教育	2名
	普通救急救命講習	32名
	自由研削用といし作業特別教育	4名
	刈払い機作業安全衛生教育	2名
高所作業車運転技能講習特例講習	2名	

【所在地案内図】



いわて県北クリーン株式会社
(Iwate-Kenpoku Clean Co.,Ltd.)

いわて第2クリーンセンター 2021年度 施設運転状況報告

2022年5月17日 いわて県北クリーン株式会社

※下記表の数値、四半期・月ごとについては、端数処理を行っておりますので、合計値に整合が取れない場合があります。

【1】搬入量

項目	単位	4月	5月	6月	第1四半期計	7月	8月	9月	第2四半期計	10月	11月	12月	第3四半期計	1月	2月	3月	第4四半期計	合計/平均
産業廃棄物受入量	ト	2,405.8	1,035.6	1,818.1	5,259.5	1,688.9	1,614.8	1,965.3	5,268.9	1,954.6	1,402.2	2,117.7	5,474.5	1,523.1	1,894.2	2,303.2	5,720.5	21,723.4
一般廃棄物受入量	ト	142.5	145.1	662.6	950.2	595.8	609.2	531.0	1736.0	491.5	252.1	426.8	1170.4	257.8	142.1	166.5	566.4	4,422.9
受入量合計	ト	2,548.3	1,180.7	2,480.7	6,209.7	2,284.6	2,223.9	2,496.3	7,004.9	2,446.1	1,654.2	2,544.5	6,644.9	1,780.8	2,036.3	2,469.7	6,286.9	26,146.2

【2】搬出量

項目	単位	4月	5月	6月	第1四半期計	7月	8月	9月	第2四半期計	10月	11月	12月	第3四半期計	1月	2月	3月	第4四半期計	合計/平均
燃え殻・ばいじん	ト	677.2	355.8	504.3	1,537.3	581.6	634.0	651.0	1,866.5	600.0	352.4	542.8	1,495.2	463.9	472.1	434.5	1,370.4	6,269.4
廃プラ等	ト	25.9	216.3	58.5	300.7	144.1	36.1	87.2	267.3	39.4	85.5	89.0	213.9	83.0	30.6	56.0	169.5	967.7

【3】廃棄物処理量

項目	単位	4月	5月	6月	第1四半期計	7月	8月	9月	第2四半期計	10月	11月	12月	第3四半期計	1月	2月	3月	第4四半期計	合計/平均
焼却炉運転日数	日	27	17	30	74	31	31	29	91	31	22	30	83	29	25	31	85	333
月焼却量	ト	2,203.2	1,171.4	2,278.1	5,652.7	2,451.1	2,433.5	2,297.9	7,182.5	2,433.3	1,692.8	2,474.3	6,600.4	2,118.8	1,885.1	2,359.9	6,363.8	25,799.4
日平均処理量	ト	81.6	68.9	75.9	76.4	79.1	78.5	79.2	78.9	78.5	76.9	82.5	79.5	73.1	75.4	76.1	74.9	77.5
負荷率	%	92.8	78.4	86.3	86.9	90.0	89.3	90.1	89.8	89.3	87.5	93.9	90.4	83.2	85.8	86.6	85.2	88.2

注記：① 日平均処理量（ト/日）＝月焼却量/焼却炉運転日数（立上下日数は除く）

② 負荷率＝日平均処理量/87.9（ト）×100

【4】発電電力量

項目	単位	4月	5月	6月	第1四半期計	7月	8月	9月	第2四半期計	10月	11月	12月	第3四半期計	1月	2月	3月	第4四半期計	合計/平均
発電日数	日	28	17	30	75	28	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	103
月発電電力量	kWh	490,710	278,710	498,280	1,267,700	454,680	0	0	454,680	0	0	0	0	0	0	0	0	1,722,380
日平均発電電力量	kWh	17,525	16,395	16,609	16,903	16,239	0	0	16,239	0	0	0	0	0	0	0	0	16,722

注記：日平均発電電力量（kWh/日）＝月発電電力量/発電日数

【5】売電電力量

項目	単位	4月	5月	6月	第1四半期計	7月	8月	9月	第2四半期計	10月	11月	12月	第3四半期計	1月	2月	3月	第4四半期計	合計/平均
発電日数	日	28	17	30	75	28	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	103
月売電電力量	kWh	237,830	139,400	236,030	613,260	206,980	0	0	206,980	0	0	0	0	0	0	0	0	820,240
日平均売電電力量	kWh	8,494	8,200	7,868	8,177	7,392	0	0	7,392	0	0	0	0	0	0	0	0	7,963

【6】排ガス測定値

項目	単位	法規制値	協定値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ _N	1.0	0.1	0.0035	—	—	0.0062	—	—	0.0036	—	—	0.0016	—	—	
一酸化炭素（1時間平均）	ppm	100	100	1~2	—	—	1~2	—	—	1	—	—	3~4	—	—	
一酸化炭素（4時間平均）	ppm	30	30	2	—	—	2	—	—	1	—	—	3	—	—	
ばいじん	g/m ³ _N	0.08	0.02	0.01	—	0.001未満	—	0.001未満	—	0.001	—	0.001未満	—	0.001未満	—	
窒素酸化物	ppm	250	100	46	—	50	—	47	—	59	—	41	—	59	—	
硫黄酸化物	ppm	K値17.5	50	14	—	5	—	8	—	8.8	—	3	—	11	—	
塩化水素	ppm	430	80	34	—	1未満	—	8	—	12	—	1未満	—	6	—	
全水銀	μg/m ³	50	-	4.5	—	—	—	—	—	0.20	—	—	—	—	—	

注記：① 硫黄酸化物の排出値で、K値17.5は約3,700ppmに相当、50ppmはK値0.25に相当する。② ダイオキシン類の測定で、4月は公定法で実施、7月、10月、1月は簡易法（生物検定法）で実施する。③ ダイオキシン類以外の測定はすべて、公定法で実施する。④ 上表中「-」は測定の予定なし。

【7】熱利用量

項目	単位	4月	5月	6月	第1四半期計	7月	8月	9月	第2四半期計	10月	11月	12月	第3四半期計	1月	2月	3月	第4四半期計	合計/平均
発電	GJ	1,766.6	1,003.4	1,793.8	4,563.7	1,636.8	0	0	1,636.8	0	0	0	0	0	0	0	0	6,200.6
白煙低減	GJ	113.7	37.3	83.2	234.2	87.4	90.1	89.3	266.8	108.7	65.3	108.2	282.2	76.6	76.8	92.4	245.8	1,029.0
合計	GJ	1,880.3	1,040.7	1,877.0	4,798.0	1,724.3	90.1	89.3	1,903.6	108.7	65.3	108.2	282.2	76.6	76.8	92.4	245.8	7,229.6

エコアクション21

認定更新

2022年2月15日



いわて第2クリーンセンター
いわて県北クリーン株式会社

〒028-6505 九戸村大字江刺家第20地割48番地34

TEL: 0195-42-4085 FAX: 0195-42-4550

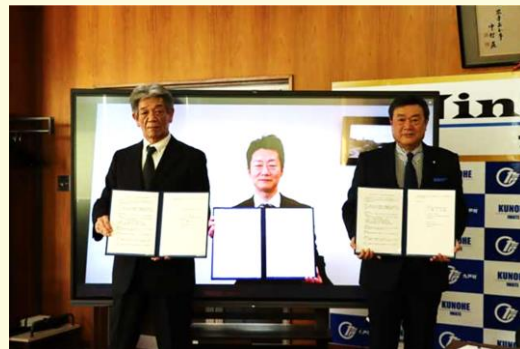
<http://www.iwate2cln.co.jp>

九戸村とCO2フリー電力の普及等に関する協定を締結

2022年3月4日に当社で発電した電力を九戸村役場庁舎に電力供給（電力の地産地消）を含めた協定を、九戸村、株式会社タクマエナジー、当社の3者で締結しました。

これは九戸村が目指す温室効果ガス排出量の削減および地域循環共生圏の構築に貢献し、地域の脱炭素化を推進することを目的としたものです。

今後、九戸村の他の設備への電力供給も順次進めることを予定しています。



「CO2フリー電力の普及等に関する協定」調印式
(左から、いわて県北クリーン・生藤社長、タクマエナジー・西村社長、岩手県九戸村・晴山裕康村長)

廃プラスチック類の 圧縮梱包機

設置について

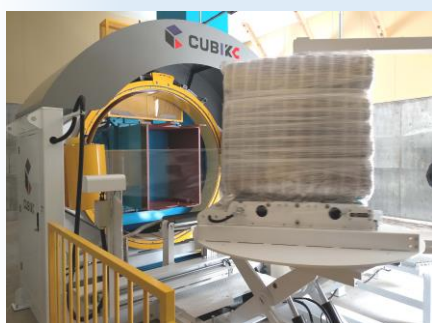
2022年2月に、「圧縮梱包機」設備を設置しました。

この設備は、廃プラスチック類を約1/3の容量に圧縮することが可能で、廃棄物の保管効率の向上や、冬季の物量減少に合わせた在庫保管が行えるため、安定した焼却操業が可能となります。

また、定期整備期間の搬入量制限の緩和や、外部処理委託先への委託量の増量や運搬コストの削減など、売上拡大も期待されます。



建屋 外観



梱包中の様子



こんなブロックになります



圧縮梱包機 本体



焼却炉定期整備に伴う長期搬入調整のお知らせ

この度、開業以来最も大規模な修繕を伴う定期整備を実施することから、以下のとおり例年よりも長期間の搬入調整期間が必要となりました。お取引企業の皆様には、大変ご不便をおかけすることとなり誠に申し訳ございませんが、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【搬入調整期間】

2022年4月18日(月)～2022年6月30日(木)

拡散防止訓練の実施



3月17日にフレコン内の缶類から油が漏れたことを想定した拡散防止訓練を実施しました。万が一の際の素早い対応を行うための大事な訓練であり、参加者はマニュアルに従った対応を迅速に行うことができました。

施設内には「各所に油水分離槽」があるため、設備的にも漏洩対策が講じられています。

技術運転部 受入課長 七戸 俊夫



こぼれた廃油をオイル吸着マットとおが粉で吸着して除去する訓練の様子。



側溝に流れた廃油を、吸引車で汲み上げる訓練の様子。雨水ごと吸引し、場外に漏洩することを防止します。

2021年度排ガス測定結果(外部分析機関での測定)

法律より厳しい協定値を設けているほか、法律で定められた測定回数より多く実施しております。結果はすべて協定値を満足しております。

【2021年度排ガス測定結果一覧表】

項目	単位	法規制値	協定値	4月度	6月度	7月度	8月度	10月度	12月度	1月度	2月度	結果
測定実施日	-	-	-	4/6	6/10	7/6	8/4	10/7	12/15	1/29	2/25	-
測定機関	-	-	-	エヌエス	環境保全	エヌエス	環境保全	エヌエス	環境保全	エヌエス	環境保全	-
測定場所	-	-	-	煙突踊り場	煙突踊り場	煙突踊り場	煙突踊り場	煙突踊り場	煙突踊り場	煙突踊り場	煙突踊り場	-
ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	1.0	0.1	0.0035	-	0.0062	-	0.0036	-	0.0016	-	全て合格
一酸化炭素 (1時間平均値)	ppm	100	100	1~2	-	1~2	-	1	-	3~4	-	全て合格
一酸化炭素 (4時間平均値)	ppm	30	30	2	-	2	-	1	-	3	-	全て合格
ばいじん	g/m ³ N	0.08	0.02	0.01	0.001未満	0.01	0.001未満	0.001	0.001未満	-	0.001未満	全て合格
窒素酸化物	ppm	250	100	46	50	46	47	59	41	-	59	全て合格
硫黄酸化物	ppm	3,761	50	14	5	14	8	8.8	3	-	11	全て合格
塩化水素	ppm	430	80	34	1未満	34	8	12	1未満	-	6	全て合格
全水銀	μg/m ³	50	-	4.5	-	4.5	-	0.20	-	-	-	全て合格

おもっし遊んで
しっかり働くんや



社員の休日ご紹介



サバゲー大好き!(^_^)!

僕は毎週日曜日に、八戸市南郷の専用競技場で、サバイバルゲームに参加するのを楽しみにしています。サバゲーは、エアガンを撃ち合って、フィールド内の相手チームを倒す競技です。アスレチック要素もありながら、味方との連携も考えなければならず、頭も体も使う非常にスリリングなスポーツです。「やるかやられるか」。緊張や猛ダッシュでたっぷり汗を流します。普段体を動かすことが少ないので貴重な運動時間となっています。



技術運転部 運転班 久慈 泰裕

ライブイベント参加♪

コロナが流行してからほとんど出かけることがなくなり、家で過ごす時間が増えていたのですが、4月に東京で開催される TWICE のライブチケットが当選したとメールが来て、とてもうれしく、久しぶりにテンションが爆上がりしました。

以前は AAA などの好きな歌手やグループのライブに参加するため、時々東京に足を運んでいたのですが、久しぶりのライブが楽しみです。今年こそは中止にならずに開催されることを願っています。



技術運転部 運転班 久保田 永一

エコアクション21

認定更新

2022年2月15日



いわて第2クリーンセンター
いわて県北クリーン株式会社
〒028-6505 九戸村大字江刺家第20地割48番地34
TEL: 0195-42-4085 FAX: 0195-42-4550
<http://www.iwate2cln.co.jp>

美化ボランティア活動のご報告

日頃より当社の事業にご理解を頂いている九戸村並びに村民の皆様への感謝の気持ちとして、5月24日から6月9日までの14日間に、延べ人数72人で、九戸村の保育園、小中学校、ふるさとの館、水道施設など全16施設の草刈りや枝払いなどの美化ボランティア活動を行いました。気温が高く大変でしたが、きれいになったところを見るとスッキリした気持ちになったとともに、何より施設の皆様に喜んでいただけたことが嬉しかったです。



九戸中学校



江刺家小学校



伊保内保育園



ひめほたるこども園



戸田保育園



ふるさとの館



田代、山根、宇堂口、戸田、瀬月内、山屋の水道施設、九戸村の浄水場など。

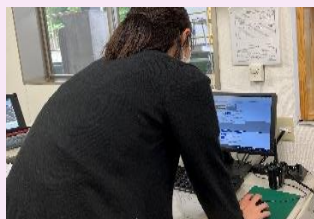


管理課のご紹介



管理 1 課

管理 1 課の業務は、受付や、廃棄物の適正処理に欠かせないマニフェストに関する業務を、専用ソフトを使用して管理します。



搬入車両受付の様子

中間処理の終了したマニフェストの返送準備の様子です。素早く丁寧に数多くの業務をこなしています。



環境整備活動として月 2 回、トラックスケール（計量器）の清掃を行います。気持ちよく来場していただけるよう汚れを洗い流します。



管理 1 課 細川 希

管理 2 課

管理 2 課は、最近新設された部署で、主に総務・労務、IT 関連の整備等を担っております。併せて社員のデバイス管理や機器の有効利用により、働きやすい環境づくりに努めています。

現在重点を置いているのは、社内文書の電子化で、ペーパー保存の物を電子保存へ切替える作業やシステム構築を行っています。

また、電子請求システムの導入による業務の効率化を図り、今後は電子契約を進めることでの更なる業務効率化を進めていきます。



使用しているソフトウェア

管理 2 課 柴田 息吹



定期整備のご報告

2022 年 5 月 6 日～6 月 9 日までの期間で焼却炉の定期整備を実施しました。開業からの 13 年間で最も大規模で長期間に及ぶ整備となりました。

メインの工事は、蒸気タービン発電機に送る蒸気を発生させる「ボイラ」の水管更新で、120 t の大型クレーンを使って焼却炉上部を取外し、その直下にある直径 76 mm、長さ約 4メートルのボイラの水管 94 本を取外しての入替・溶接を、延べ約 1,400 人の業者を動員して行いました。

各工事業者様のご協力が無事故・無災害で工事を終える事ができ感謝しております。

長期の搬入調整期間となりお客様にはご迷惑をお掛けしました。これからも安定した操業が継続できるよう努めて参りますのでよろしくお願い致します。

運転整備課 瀧澤 直樹



120t 大型ラフタークレーン



ボイラの管寄せ部



ボイラ溶接士の免許を持った職人による溶接作業の様子



焼却炉の復旧作業の様子



焼却炉とボイラ上部の接合部

2021 年度の資格取得・講習 一覧

乙種第 1 類危険物取扱者免許	2名	自由研削と石取替え業務特別教育	1名
乙種第 2 類危険物取扱者免許	1名	ボイラー実技講習会	1名
乙種第 4 類危険物取扱者免許	3名	はい作業主任者技能講習	1名
乙種第 6 類危険物取扱者免許	1名	産廃処理優良事業者育成研修会 実務者基礎コース	2名
小型移動式クレーン運転技能講習	2名	産廃処理優良事業者育成研修会 応用コース	9名
車両系建設機械（整地）運転技能講習	1名	電子マニフェスト導入実務研修会	5名
フルハーネス型墜落制止用器具特別教育	2名	産廃処理業におけるリスクアセスメント推進研修会	2名
玉掛け技能講習	5名	危険物取扱者保安講習	2名
低圧電気取扱業務特別教育	2名		